

平成29年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では 114億200万円となり、前年同期比 112.8%となりました。
これは呉羽顆粒剤工場の製造移管が予定どおり進んでおり、生産数が増加した事が主要因となります。
収益面では 2億2,400万円となり、前年同期比 5億6,200万円増となりました。
これは上述した呉羽顆粒剤工場がフル稼働に近づいている事で生産効率が高まり、販管費のコストコントロールも順調に推移している事が主要因となります。

(事業運営面)

大型投資した呉羽顆粒剤工場の安定稼働に注力しております。また、既存受託品目の受注量も増加しており、品質向上と納期厳守を行いながら事業を進めております。
次年度以降の成長に向けた次期中期経営計画を作成しております。

○ 課題への取組み

・収益性を高めるため、生産工場の稼働率を向上させるべく全社一丸となって様々な施策に取り組んでおります。

○ トピックス、適時情報

・経済産業省選定 地域未来牽引企業に選ばれました。
・「富山のくすり」ブランドを育成することを目的として、配置事業を基盤とした医薬品の製造販売事業を行うため、内外薬品株式会社、大協薬品工業株式会社とともに、共同事業会社「富山めぐみ製薬株式会社」を平成30年4月に設立することとなりました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体) (第3四半期、平成29年4月～平成29年12月) (千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	9,007,734	9,206,448	10,099,880	11,402,174
経常利益	-163,110	-747,733	-338,555	224,139

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は 132億9,200万円となり、前年同期比 107.8%となりました。
増加要因は呉羽顆粒剤工場の本格稼働と、OTC事業が堅調に推移していることが主要因となります。
収益面では 3億4,800万円となり、前年同期比 6億6700万円増となりました。
通期での黒字化を目指し、引き続き呉羽顆粒剤工場の安定稼働と既存生産工場の稼働率向上、販管費のコストコントロールに取り組んでおります。

○ 業績の概況 (広貫堂グループ・連結) (第3四半期、平成29年4月～平成29年12月) (千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	11,177,733	11,677,827	12,232,422	13,292,411
経常利益	-149,604	-829,958	-318,331	348,902

平成29年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比89.1%の19億800万円となりました。経常利益は返品調整引当金等の戻し入れにより、増益となっております。

(事業運営面)

配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進し、また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績の回復につなげて参ります。

○ トピックス、適時情報

・株式会社廣貫堂、大協薬品工業株式会社および内外薬品株式会社は、「富山のくすり」ブランドを育成することを目的として、新会社を共同で設立することとなりました。平成18年4月1日より、薬都広貫堂として営業して参りましたが、平成30年4月1日から、「富山めぐみ製薬」として業務を開始いたします。これを機に社員一同さらなる精励を期して、社業発展と皆様のご要望にお応えできるよう努力して参ります。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成29年4月～平成29年12月)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	2,160,283	2,110,208	2,140,587	1,908,136
経常利益	-4,586	-6,950	-26,189	67,696

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は前年同期比102.0%の43億2,800万円となりました。

経常利益は前年同期比90.3%の4,200万円となりました。

(事業運営面)

ヘルスケア事業部では市場ニーズに応えた製品の開発を進めていきます。

○ トピックス、適時情報

新発売(4月～12月)

- ・医薬品：100mLドリンク 2アイテム、止瀉薬(12錠) 1アイテム
- ・医薬部外品：100mLドリンク 2アイテム、50mLドリンク 1アイテム
- ・清涼飲料水：50mLドリンク 1アイテム
- ・食品：おくすり屋さんの国産十五穀米(20g×6袋) 1アイテム
シールド乳酸菌飲料 65mL 1アイテム
- ・雑貨：アースプラス 除菌・消臭エアコンフィルター 2アイテム

○ 業績の概況 (第3四半期、平成29年4月～平成29年12月)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	3,739,808	4,361,423	4,244,653	4,327,881
経常利益	26,261	44,100	46,095	41,641

平成29年度
(第3四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第3四半期は経費項目の大半が前年に引き続き改善したものの、売上の減が響き1,900万円の減益となりました。売上減の要因は顧客の減少と、営業員不足のため、ネット媒体の活用/本部サポートで安定確保および定着をはかりました。

(事業運営面)

基盤強化のためセグメント別顧客の廻商ルール再設定と、粗利を重視するための商品施策を打ち出しました。「酵素と乳酸菌のチカラ」のノルマ化により売上増をおこない、12月より「ヒューマンウォーター」の販売を新規で開始し販売実績がありました。

○ トピックス、適時情報

・10月より「酵素と乳酸菌のチカラ」を販売開始しました。また12月より「ヒューマンウォーター」の販売を開始しました。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成29年4月～平成29年12月)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	1,308,843	1,241,787	1,155,960	1,083,347
経常利益	-134,981	-95,074	-5,920	-24,870

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比98.4%予算計画比97.4%となりました。経費面につきましては、前年同期比88.2%と減少傾向にあります。経常利益は、計画238万に対して783万となりました。

(事業運営面)

10月、11月にシーセレクトの拡売キャンペーンを実施し、12月からグルコサミンゼリーの拡売キャンペーンを行いリピート顧客の保全活動に努めました。

○ トピックス、適時情報

・平成29年10月20日13:00よりトキワ広貫堂株式会社第4回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第3四半期、平成29年4月～平成29年12月)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
売上高	166,305	163,132	162,807	160,151
経常利益	-18,375	-4,364	-6,696	7,834